

# 目黒吉久町長退任 菅家三雄町長が初登庁



▲12月15日、退任式で花束を受け取る目黒町長(左)



▲12月16日、初登庁で花束を手にする菅家町長(右)

使命感もって  
取り組んだ8年間  
目黒町長退任

12月15日で任期満了を迎えた目黒吉久町長の退任式が、同日町役場で行われました。

退任式で職員を前にした目黒町長は、2期8年間の途中で取り組んだ町制施行50周年事業や新潟・福島豪雨災

害からの復旧事業、ユネスコエコパークへの登録などについて思いを振り返りました。「只見町はまだまだ可能性を秘めている。町の将来の為に矜持を持ち続け立ち向かって欲しい」と退任の挨拶を述べました。その後、職員から花束の贈呈を受け、職員の拍手で見送られ役場を後にしました。

目黒町長は平成20年の町長選挙で初当選し、2期8年にわたり町政を担ってきました。

## 町史に新しいページ 菅家三雄町長就任

12月16日、菅家三雄町長が初登庁し、町役場玄関前で多くの町民や職員の拍手で出迎えられました。

就任式で菅家町長は「町政から離れていた8年間の空白を埋めるために学び、その間培った住民自治をベースとした考えを町政に活かし、町のさらなる発展を目指したい」と決意を表明し、「町が抱える大きな課題『過疎・少子高齢化対策』を、職員と共に取り組みたい」と訓示を述べました。

その後、新旧町長による事務引継ぎが行われ、町長として新しい一歩を踏み出しました。

新体制となった

只見町選挙管理委員会

12月25日で任期満了となる町選挙管理委員会の新体制について、12月26日に第1回町選挙管理委員会が開かれ、次のとおり決定しました。任期は平成28年12月26日～平成32年12月25日までの4年間です。

【選挙管理委員会委員】



▽委員長  
渡部 英弥(黒沢)



▽委員長職務代理者  
舟木 和一(小林)



▽委員  
伊豆 富子(叶津)



▽委員  
渡部 等(小川)

【選挙管理委員会委員補充員】

- 山岸 秀弥(只見)
- 吉津 秀一(長浜)
- 矢沢 千代(二軒在家)
- 目黒 芳美(石伏)

前只見町農業委員3名が

「永年勤続農業委員」を受賞

11月8日、県農業会議の主催で、地域農業の振興や担い手の育成・確保、農業者の地位の向上などを目的に「県下農業委員会大会」が福島市で開催されました。

大会において只見町からは、農業委員会前会長の渡部且明さん、前委員の目黒紘さん、佐藤茂さんが「永年勤続農業委員」として表彰され、12月16日に行われた只見町農業委員会総会後に、矢澤照嘉会長から表彰状と記念品が伝達されました。今回の受賞は、農業委員としての在職期間が12年(4期)以上であり、地域農業の振興に努め、農村の発展と農業者の地位向上に寄与した功績が評価されたものです。



▲矢澤会長から賞状を伝達される佐藤茂さん

町SL「C58」蘇る

7年ぶりの「化粧直し」を実施

現在建築工事中の只見振興センター前に展示されているSL「C58-244」を、7年ぶりに塗装する「化粧直し事業」が、11月15日～30日までの5日間行われ、町内外から述べ40名程のボランティアが参加しました。この事業は、展示されたSLを観光資源として活用しようと自然首都只見J.R只見線観光化推進協議会が主催し、フェイスブックで参加を呼びかけました。

最終日の30日は県内外から只見線ファンなど10名が集まり、SLの外観塗装と内部の清掃を行いました。事務局の町観光まちづくり協会の酒井事務局長は「蘇ったSLを、町民にも身近な資源として感じて欲しい」と話されました。



▲ボランティアの皆さんにより蘇ったSL「C58-244」

会津地区で優勝！県大会出場！

只見町バレーボールクラブが活躍

11月5～6日、県バレーボール協会と県小学生バレーボール連盟が主催する「第39回県小学生バレーボール選手権会津地区大会」が、下郷町大川ふるさと公園コミュニティセンターで開催され、只見町バレーボールクラブが見事地区優勝を果たしました。

会津地区で優勝した只見町バレーボールクラブは、12月9～10日に県営あづま総合体育館で開催された県大会に出場しましたが、惜しくも予選リーグ敗退となりました。

只見町バレーボールクラブの今後の活躍に期待です。



▲地区優勝を果たした只見町バレーボールクラブの皆さん

## トップアスリートが夢の大切さを伝える

### 只見・朝日小学校で「アスリート夢先生」心の授業を開催

ただみコミュニティクラブが主催で、アスリートが子ども達に夢を伝える心の授業「アスリート夢先生」が只見・朝日小学校で開かれ、講話や実技が行われました。

12月5日に行われた只見小学校では、ソフトボール元日本代表で、現在はビックカメラ高崎チームで活躍されている「黒川春華」と「柳井春奈」さんが来校されました。講話では、ソフトボールから学んだことや、仲間の大切さなどが話され、子ども達に「掃除もソフトボールも本気で向き合わないと上達しない。今できることを一生懸命にやってみよう」とエールを送りました。その後グラウンドでノックやピッチ



▲トップレベルのピッチングを披露する黒川選手

ングが披露され、子ども達はその実力を肌で感じる事ができました。

朝日小学校の心の授業は12月13日に行われ、実業団バレーボールリーグの久光製菓チームや全日本代表選手として活躍された「筒井視穂子」さんが来校されました。筒井さんは、姉の影響で小学校2年生からバレーボールを始め、数々の優勝や活躍をする事にも、自身が経験した辛い練習やいじめによる登校拒否、海外遠征での大けがなどを話され、子ども達に「夢は変わっても大丈夫。夢や目標を持つて下さい」とメッセージ贈りました。その後体育館で筒井さんのスパイクが披露され、子ども達はその威力に圧倒されていました。



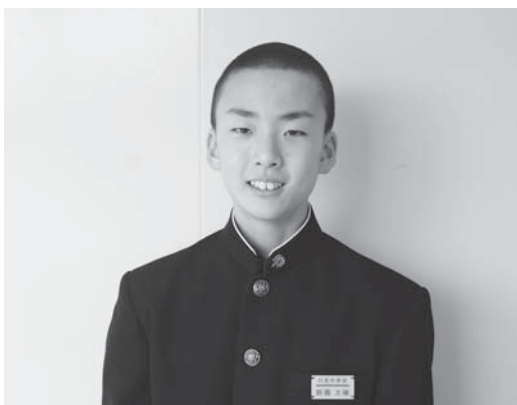
▲強烈なスパイクを披露した筒井視穂子さん

## 只見中1年生「新國太陽さん

### 中学生の「税についての作文」で入選

県納税貯蓄組合連合会が税への意識を高める目的で実施している平成28年度中学生の「税についての作文」の入選者が11月8日に発表され、県内116校5313作品の応募の中から、只見中学校1年生の新國太陽さんの作文が「東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞」に入選しました。

新國さんの作文は「国県町という家族」というタイトルで、農業を営む父を題材にして書かれました。新國さんは「お父さんから税について教わりました。税について少しは理解できたと思います」と感想をのべました。受賞おめでとうございます。



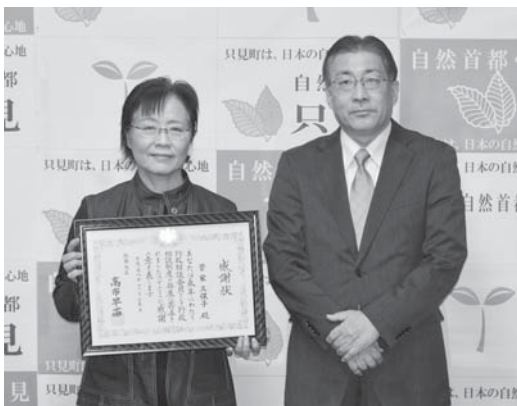
▲「東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞」を受賞した只見中学校1年生の新國太陽さん

## 只見町行政相談員

### 菅家三保子さんへ感謝状

総務省から委嘱され、役所(国、県及び市町村)や特殊法人などの仕事に關して町民の方からの相談に応じる「只見町行政相談員」を、11月15日付で退任された「菅家三保子」さんへの感謝状贈呈式が11月24日、町役場で行われ関係者が参加しました。

贈呈式では、福島行政評価事務所の小野武司所長が総務大臣からの感謝状を菅家さんに伝達し、「永年にわたり行政相談活動にご協力を頂き感謝申し上げます」と挨拶されました。菅家さんは3期6年間、只見町の相談員を務められ、町民の相談に応じられました。



▲感謝状を手にする菅家三保子さん(左)と小野所長(右)

平成28年度福島県教職員研究論文  
町内3小学校が入賞

県教育委員会が、県内の教育の振興を図ることを目的に、学校の教育実践に基づく研究論文などを募集した「第45回福島県教職員研究論文」で、只見朝日小学校が「入選」、明和小学校が「奨励賞」にそれぞれ入賞され、12月6日に只見振興センターで表彰式が行われました。

表彰式では、県南会津教育事務所の渡辺惣吾所長から各小学校の校長先生に賞状が伝達され、その後の挨拶で「町内全ての小学校が、県レベルで評価されたのは非常に素晴らしく、前例がないことです。」と評価をいただきました。



▲賞状を受けとった朝日小学校鈴木校長(中左)、只見小学校関根校長(中)、明和小学校渡部校長(中右)と、渡辺所長(左)、齋藤教育長(右)

只見町を知る検定  
「第2回只見おもしろ学検定」開催

只見町の歴史や文化などの地域資源を多くの人に知ってもらうことを目的に「第2回只見おもしろ学検定」が12月10日、各振興センターを会場に行われました。今年は参加する生徒が多かった朝日・明和小学校でも検定会が開かれ、総勢85名が受験しました。今回の合格は初級73名、中級3名となり、中級の合格者は次のとおりです。

**【中級合格者3名】**  
 新国 守 さん  
 横山 麻佐美さん  
 横山 治 夫さん



▲朝日小学校で行われた検定会の様子

今季の無事故を願う  
只見スキー場オープン式

12月22日、只見スキー場のオープン式がスキー場ロッジで行われ、約30名の関係者が出席しました。

オープン式では、スキー場を運営する会津ただみ振興公社の newly 守支配人が「安全安心なスキー場を目指し、サービス向上に努めます」と挨拶し、菅家町長が「多くの方々にご利用して頂き、ゲレンデに沢山の滑る姿が見られることを願います」と祝辞を述べました。その後、齋藤邦夫町議会議長の音頭で安全を祈願して乾杯が行われ、関係者のテープカットでオープンしました。しかし、2年連続の雪不足により滑走不可の状況が続いているので、今後の降雪が期待されます。



▲今シーズンの無事故を願い行われたテープカット(スキー場レストランは12月17日から営業)

そばの魅力伝える  
「朝日そばまつり」を初開催

12月18日、朝日振興センターを会場に「朝日そばまつり」が初めて開催され、町民約30名が来場し、そばの味を堪能しました。

このそばまつりは、町のそばの魅力を伝え、そばの作付振興に繋げることを目的に、熊倉地区の熊倉蕎麦愛好会の皆さんの協力のもと、朝日振興センターが主催しました。

今回は、会津のブランドそば粉「会津のかおり」を使用し、熊倉蕎麦愛好会の目黒義行さんにそばを打っていただきました。食べ放題のそばは、冷たい盛りそば、温かい田舎そばで提供され、来場者からは「香りが良い」「本当に美味しい」といった声が聞かれました。



▲そばの味を堪能する来場者の皆さん